

光中だより

学校だより No.1 令和4年4月18日
発行 横芝光町立光中学校 文責：八巻 隆介
住所 〒289-1727 山武郡横芝光町宮川 5883
TEL 0479-84-1545 FAX 0479-84-2874

「260名全員、感動ある中学校生活を！」

教頭 八巻 隆介

今年度、東金市立北中学校から本校に赴任した八巻隆介です。平成23年度から平成28年度までの6年間、学年主任・学級担任・野球部顧問として光中に勤務していました。保護者の方からは、「おかえりなさい」と声をかけていただくこともあり嬉しく思います。また、「光中愛」を強くもっておりますので、光中学校の教職員の1人としての誇りをもち、邁進していく所存です。この学校だよりには、そんな私の想いを嘘偽りなく書いていきたいと思っております。よろしくお願ひいたします。

先日、新入生88名が入学し、全校生徒260名となりました。「中1ギャップ」という言葉もありますが、マイナスにとらえるのではなく、中学生になったことで、なりたい自分に変わるきっかけにしてほしいと思っております。進学・進級は「変わるチャンス」でもあります。「**チャンス、チャレンジ、チェンジ**」の頭文字をとって「3C」とも言います。これを機に、様々なことに挑戦し、良い意味で変わろうとする皆さんを我々教職員も全力で応援していきたいと思っております。過去は変えられませんが、未来は変えられます。今まで勉強や運動など、本気で頑張った経験がない人でも、「でも、どうせ、だって」を口に出さない心がけをするだけで、世界が変わってきます。学力や体力の向上には個人差がありますが、「できない」と「まだ、できない」は違います。いつか必ずできる、まさに「やればできる」ことを信じ、感動ある中学校生活を送ってほしいと思っております。

2・3年生も昨年度と全く同じ学年はありません。「新しい教室」での学びに加え、「新しい先生」との出会いもあります。先日行われた始業式では、各学年ともに代表生徒による話がありましたが、学校全体が前向きになるような素晴らしい決意表明で、我々教職員のやる気も今まで以上にアップしました。また、光中学校のすべての学年・学級が良い意味で変わろうとする仲間を全力で応援できる集団であってほしいとも思っております。物事の始まりには様々な格言等がありますが、私自身、新年度のスタートには、「**始めよければ終わりよし**」（物事は始めがうまくいけば、その後も順調に進み、最後に良い結果が出る）という言葉の思い浮かべます。「よし、やるぞ！」（**やるぞ宣言!**）という今の気持ちを継続させ、すべての諸活動に前向きに取り組み、胸を張って光中学校を巣立ってほしいと心から願っております。

最後になりましたが、生徒・教職員ともに「光中プライド」をもちつつ、保護者・地域の方々との「**共創**」を大切に前進していきたいと思っております。引き続き、本校の教育活動に対して、ご理解、ご協力をお願いいたします。

※ 本年度の職員紹介はPTA総会資料をご覧ください。

新型コロナウイルスの影響を踏まえた教育活動の制限緩和について

標記の件について、令和4年4月18日（月）に横芝光町教育委員会から通知がありました。その中で「新学期の開始に際し、学校教育における児童生徒の貴重な活動機会を確保する観点から、様々な活動を制限するのではなく、段階的に本来の活動を取り戻していく」「基本的な感染症対策を徹底しながら」「児童生徒が自ら感染防止対策を継続できるよう」等の明記があります。今年度の光中学校の学校教育目標は「**自ら考え 未来を創る 心豊かで たくましい生徒の育成**」です。我々教職員も町教育委員会との協議のもと、保護者の皆様からのご意見等を真摯に受け止めつつ、生徒自らが考えることを大切にしながら、教育活動を進めていきたいと思っております。

【参考資料】

県立学校における教育活動の制限緩和に伴う留意点

- ポストコロナの学校教育を見据え、これまで制限されることが多かったグループ活動、校外学習、学校行事等の実施による教育効果の実現と感染拡大リスクの低減のバランスをとった教育活動の展開を図るとともに、ICTを活用した学習機会を効果的に組み込み、学びの質の向上に努めること。
- 学校における感染症対策については、次の①～⑤の取組を徹底すること。
 - ① 健康観察の徹底（体調不良者の登校停止）
 - ② 会話時のマスク着用
 - ③ 定期的な手洗いの実施
 - ④ 換気の徹底
 - ⑤ 狭くて閉鎖された空間（部室等）での密集状態の回避
- 感染リスクの高い教育活動について、感染拡大防止の観点から、活動の内容や方法を工夫して行うこと。感染状況等によっては直前であっても内容の変更、延期又は中止を検討すること。

進もう先へ～新しい学びへ一歩踏み出そう～

—学校教育活動の制限緩和と感染症対策の両立—

新型コロナによる子供たちへの影響

- ・ ストレスや運動不足による心身の不調
- ・ 多様な学習機会や交流機会の喪失
- ・ マスクの常時着用によるコミュニケーション阻害

今後の学校運営の基本的な考え方

- ・ 子供たちの健やかな成長を図るため、**地域や学校の状況を踏まえて、段階的に制限を緩和**
- ・ 学校における感染リスクの低減を図るため、**基本的な感染症対策を徹底**

学校教育活動の制限緩和

授業

- ・ グループ学習
 - ・ 実技・実習
(球技・楽器演奏・調理実習等)
 - ・ 校外学習
- 基本的にも実施
(積極的にICTも活用)

学校行事

- ・ 運動会 → **多様な種目の実施**
- ・ 修学旅行 → **県内外を問わず実施**
※訪問先の感染状況には十分留意
- ・ 式典
(卒業式等) → **保護者等も参加して実施**

給食・昼食

「対面」での黙食も可

※飲食店の認証基準も参考にして実施

部活動

通常どおり実施：小学生の外遊びも推奨

※クラスターの要因となる部室の利用や
下校時の寄り道時の感染症対策を徹底

徹底すべき基本的な感染症対策

- ①健康観察の徹底、②会話時のマスク着用、③定期的な手洗いの実施、④換気の徹底、⑤狭い閉鎖空間での密集状態の回避

会話する時は
マスクをしてね

千葉県教育委員会